



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 泰夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 川上 英規
四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-385-7692
—

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,961	△4.5	1,199	△18.5	1,284	△17.7	759	△16.8
29年3月期第3四半期	27,177	9.2	1,471	21.4	1,561	18.5	912	16.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 943百万円 (△2.0%) 29年3月期第3四半期 962百万円 (10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	108.74	—
29年3月期第3四半期	130.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,132	14,701	42.0
29年3月期	31,015	14,138	40.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,060百万円 29年3月期 12,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	20.00	—		
30年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

30年3月期の第2四半期末の配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭 (東京証券取引所市場第一部指定記念配当)

30年3月期(予想)の期末の配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

配当予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.3	1,900	△11.4	2,000	△11.0	1,200	△10.2	171.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の
会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注
記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期 3 Q	7,004,000株	29年3月期	7,004,000株
30年3月期 3 Q	17,789株	29年3月期	17,493株
30年3月期 3 Q	6,986,357株	29年3月期 3 Q	6,986,507株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善がみられるものの、米国の政策動向、欧州の政治リスク等により先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は259億61百万円と前年同四半期に比べ12億15百万円(4.5%)の減収、営業利益は11億99百万円と前年同四半期に比べ2億71百万円(18.5%)の減益、経常利益は12億84百万円と前年同四半期に比べ2億76百万円(17.7%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億59百万円と前年同四半期に比べ1億53百万円(16.8%)の減益となりました。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業におきましては、溶解アセチレンは公共工事、酸素は医療用、水素は石英加工向けの需要が減少いたしました。窒素は半導体・エレクトロニクス向けの需要が増加し、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の上昇に伴う販売価格の値上げ等により売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は139億4百万円と前年同四半期に比べ10億99百万円(8.6%)増加いたしました。営業利益は多賀城工場の大規模定期修理に加え販売費の増加により12億14百万円と前年同四半期に比べ1億48百万円(10.9%)の減少となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業におきましては、溶接材料及び溶接切断器具の需要が増加したこと等により売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は82億28百万円と前年同四半期に比べ2億30百万円(2.9%)の増加、営業利益は1億97百万円と前年同四半期に比べ50百万円(34.5%)の増加となりました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業におきましては、自動車部品メーカーの設備投資需要が一巡したことにより売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は24億66百万円と前年同四半期に比べ26億72百万円(52.0%)の減少、営業利益は1億6百万円と前年同四半期に比べ3億25百万円(75.3%)の減少となりました。

その他事業

その他事業におきましては、製氷・冷凍機械等の受注が増加したこと等により売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は13億62百万円と前年同四半期に比べ1億27百万円(10.3%)増加し、利益率の改善に努めた結果、営業利益は2億34百万円と前年同四半期に比べ1億81百万円(346.0%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、311億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億16百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少(3億20百万円)したこと及び電子記録債権が減少(10億78百万円)しましたが、現金及び預金が増加(5億49百万円)したこと、商品及び製品が増加(8億40百万円)したこと及び投資有価証券が増加(2億7百万円)したこと等によるものであります。

負債は、164億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少いたしました。この主な要因は、借入金が増加(5億18百万円)したこと等によるものであります。

純資産は、147億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億62百万円増加いたしました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加(4億9百万円)したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,954,527	5,504,051
受取手形及び売掛金	7,076,763	6,756,569
電子記録債権	4,905,035	3,826,066
商品及び製品	823,549	1,664,107
仕掛品	228,215	165,765
原材料及び貯蔵品	84,851	84,845
その他	364,555	434,650
貸倒引当金	△30,836	△27,199
流動資産合計	18,406,662	18,408,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,346,852	3,257,458
機械装置及び運搬具(純額)	1,368,134	1,211,149
土地	5,571,276	5,569,239
その他(純額)	335,891	501,229
有形固定資産合計	10,622,155	10,539,076
無形固定資産	123,816	124,014
投資その他の資産		
投資有価証券	1,212,168	1,419,958
その他	732,825	682,187
貸倒引当金	△81,705	△41,852
投資その他の資産合計	1,863,288	2,060,293
固定資産合計	12,609,260	12,723,384
資産合計	31,015,923	31,132,241
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,949,304	6,359,045
電子記録債務	2,057,486	1,924,938
短期借入金	3,545,000	3,629,000
1年内返済予定の長期借入金	705,424	383,844
未払法人税等	416,776	98,425
賞与引当金	349,348	177,504
役員賞与引当金	14,730	3,984
その他	1,088,187	1,235,086
流動負債合計	14,126,257	13,811,827
固定負債		
長期借入金	823,516	542,338
役員退職慰労引当金	457,617	435,116
退職給付に係る負債	1,252,321	1,277,172
資産除去債務	5,453	5,529
その他	211,981	358,516
固定負債合計	2,750,889	2,618,672
負債合計	16,877,146	16,430,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	970,902	971,320
利益剰余金	9,214,391	9,624,326
自己株式	△9,102	△9,561
株主資本合計	12,437,191	12,847,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,346	213,516
その他の包括利益累計額合計	112,346	213,516
非支配株主持分	1,589,238	1,641,138
純資産合計	14,138,776	14,701,741
負債純資産合計	31,015,923	31,132,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	27,177,372	25,961,878
売上原価	19,493,539	18,472,683
売上総利益	7,683,833	7,489,195
販売費及び一般管理費	6,212,660	6,289,842
営業利益	1,471,172	1,199,353
営業外収益		
受取利息	497	333
受取配当金	15,570	22,053
受取賃貸料	62,565	62,407
持分法による投資利益	19,161	18,953
その他	72,068	65,862
営業外収益合計	169,863	169,610
営業外費用		
支払利息	36,059	30,688
賃貸費用	40,178	32,709
その他	3,459	20,664
営業外費用合計	79,697	84,061
経常利益	1,561,338	1,284,901
特別利益		
固定資産売却益	11,142	7,833
投資有価証券売却益	62,136	—
特別利益合計	73,279	7,833
特別損失		
固定資産除売却損	43,734	16,033
特別損失合計	43,734	16,033
税金等調整前四半期純利益	1,590,882	1,276,701
法人税等	566,919	458,534
四半期純利益	1,023,963	818,166
非支配株主に帰属する四半期純利益	111,087	58,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	912,876	759,706

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,023,963	818,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,944	124,189
持分法適用会社に対する持分相当額	2,235	844
その他の包括利益合計	△61,709	125,033
四半期包括利益	962,254	943,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	867,429	860,876
非支配株主に係る四半期包括利益	94,825	82,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,805,405	7,998,415	5,138,839	1,234,712	27,177,372	—	27,177,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,805,405	7,998,415	5,138,839	1,234,712	27,177,372	—	27,177,372
セグメント利益	1,362,819	146,803	431,683	52,503	1,993,810	△522,637	1,471,172

(注) 1 セグメント利益の調整額△522,637千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,904,437	8,228,627	2,466,744	1,362,069	25,961,878	—	25,961,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,904,437	8,228,627	2,466,744	1,362,069	25,961,878	—	25,961,878
セグメント利益	1,214,524	197,466	106,485	234,183	1,752,659	△553,306	1,199,353

(注) 1 セグメント利益の調整額△553,306千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。